



Call Home および Smart Call Home の設定

- [Call Home および Smart Call Home の設定, on page 1](#)

Call Home および Smart Call Home の設定

UCS の Call Home の概要

Call Home では、重要なシステム ポリシーに対して電子メールベースの通知が提供されます。ポケットベル サービスや XML ベースの自動解析アプリケーションに対応可能なさまざまなメッセージフォーマットが用意されています。この機能を使用して、ネットワーク サポート エンジニアにポケットベルで連絡したり、ネットワーク オペレーションセンターに電子メールを送信したりできます。また、Cisco Smart Call Home サービスを使用して TAC のケースを生成できます。

Call Home 機能では、診断情報および環境の障害とイベントに関する情報が含まれるアラートメッセージを配信できます。

Call Home 機能では、複数の受信者（Call Home 宛先プロファイルと呼びます）にアラートを配信できます。各プロファイルには、設定可能なメッセージフォーマットとコンテンツ カテゴリが含まれます。Cisco TAC へアラートを送信するための宛先プロファイルが事前に定義されていますが、独自の宛先プロファイルを定義することもできます。

メッセージを送信するように Call Home を設定すると、Cisco UCS Manager によって適切な CLI **show** コマンドが実行され、コマンド出力がメッセージに添付されます。

Cisco UCS では、Call Home メッセージが次のフォーマットで配信されます。

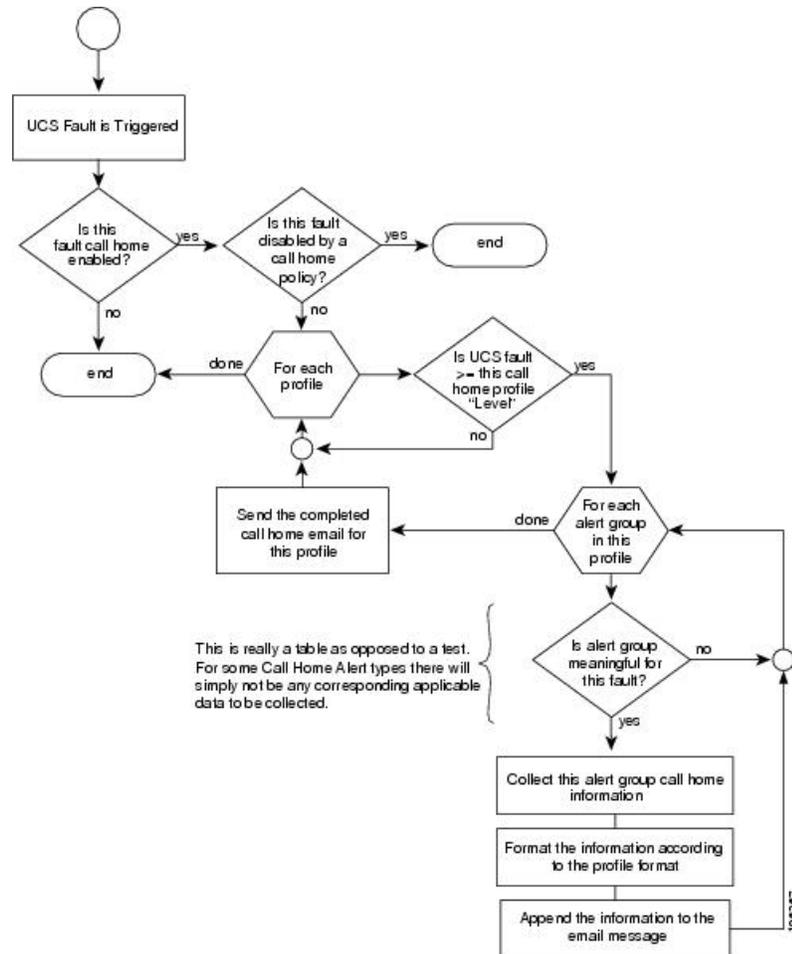
- 1 または 2 行で障害を説明する、ポケットベルや印刷レポートに適したショートテキストフォーマット。
- 詳細な情報を十分に書式が整えられたメッセージで提供する、ユーザが読むのに適したフルテキストフォーマット。
- Extensible Markup Language (XML) と Adaptive Messaging Language (AML) XML Schema Definition (XSD) を使用する、コンピュータで読み取り可能な XML フォーマット。AML

XSD は Cisco.com の Web サイトで公開されています。XML 形式は、シスコ Technical Assistance Center とのやり取りの中でも使用されます。

Call Home 電子メールアラートをトリガする可能性がある障害についての情報は、『*Cisco UCS Faults and Error Messages Reference*』を参照してください。

次の図に、Call Home が設定されたシステムで Cisco UCS 障害がトリガーされた後のイベントの流れを示します。

図 1: 障害発生後のイベントの流れ



Call Home の考慮事項とガイドライン

Call Home の設定方法は、機能の使用目的によって異なります。Call Home を設定する前に考慮すべき情報には次のものがあります。

宛先プロファイル

少なくとも1つの宛先プロファイルを設定する必要があります。使用する1つまたは複数の宛先プロファイルは、受信エンティティがポケットベル、電子メール、または自動化されたサービス（Cisco Smart Call Home など）のいずれであるかによって異なります。

宛先プロファイルで電子メールメッセージ配信を使用する場合は、Call Home を設定するときにシンプルメール転送プロトコル（SMTP）サーバーを指定する必要があります。

連絡先情報

受信者が Cisco UCS ドメインからの受信メッセージの発信元を判別できるように、連絡先の電子メール、電話番号、および所在地住所の情報を設定する必要があります。

システムインベントリを送信して登録プロセスを開始した後、Cisco Smart Call Home はこの電子メールアドレスに登録の電子メールを送信します。

電子メールアドレスに#(ハッシュ記号)、スペース、&(アンパサンド)などの特殊文字が含まれていると、電子メールサーバが電子メールメッセージをそのアドレスに配信できないことがあります。RFC2821 および RFC2822 に準拠し、7ビット ASCII 文字のみを含む電子メールアドレスを使用することをお勧めします。

電子メールサーバーまたは HTTP サーバーへの IP 接続

ファブリック インターコネクต์に、電子メールサーバーまたは宛先 HTTP サーバーへの IP 接続を与える必要があります。クラスタ設定の場合は、両方のファブリック インターコネクต์に IP 接続を与える必要があります。この接続により、現在のアクティブなファブリック インターコネクต์で Call Home 電子メールメッセージを送信できることが保証されます。これらの電子メールメッセージの発信元は、常にファブリック インターコネクต์の IP アドレスになります。クラスタ設定で Cisco UCS Manager に割り当てられた仮想 IP アドレスが、電子メールの発信元になることはありません。



-
- (注) SMTP サーバに必ず各ファブリック インターコネクต์ IP を追加してください。ファブリック インターコネクต์ IP が SMTP サーバに設定されていない場合、Call Home 電子メールメッセージは配信できません。
-

Smart Call Home

Cisco Smart Call Home を使用する場合は、次のことが必要です。

- 設定するデバイスが、有効なサービス契約でカバーされている必要があります。
- Cisco UCS 内で Smart Call Home 設定と関連付けられるカスタマー ID は、Smart Call Home が含まれるサポート契約と関連付けられている CCO (Cisco.com) アカウント名にする必要があります。

Cisco UCSの障害と Call Home のシビラティ（重大度）

Call Home は複数の Cisco 製品ラインにまたがって存在するため、独自に標準化されたシビラティ（重大度）があります。次の表に、基礎をなす Cisco UCS の障害レベルと Call Home のシビラティ（重大度）とのマッピングを示します。Call Home のプロファイルにレベルを設定するときには、このマッピングを理解しておく必要があります。

表 1: 障害と Call Home のシビラティ（重大度）のマッピング

Call Home のシビラティ （重大度）	Cisco UCS の障害	Call Home での意味
(9) Catastrophic	該当なし	ネットワーク全体に壊滅的な障害が発生しています。
(8) Disaster	該当なし	ネットワークに重大な影響が及びます。
(7) Fatal	該当なし	システムが使用不可能な状態。
(6) Critical	Critical	クリティカルな状態、ただちに注意が必要。
(5) Major	Major	重大な状態。
(4) Minor	Minor	軽微な状態。
(3) Warning	Warning	警告状態。
(2) Notification	Info	基本的な通知と情報メッセージ。他と関係しない、重要性の低い障害です。
(1) Normal	Clear	通常のイベント。通常の状態に戻ることを意味します。
(0) debug	該当なし	デバッグ メッセージ。

Anonymous Reporting

Cisco UCS Managerの最新リリースにアップグレードすると、デフォルトでは、Anonymous Reporting をイネーブルにするようにダイアログボックスで指示されます。

Anonymous Reporting をイネーブルにするには、SMTP サーバおよびファブリック スイッチに保存するデータファイルの詳細を入力する必要があります。このレポートは7日ごとに生成され、同じレポートの以前のバージョンと比較されます。Cisco UCS Manager がレポートでの変更を識別すると、レポートが電子メールとして送信されます。

Anonymous Reporting のイネーブル化



(注) Anonymous Reporting は、Call Home がディセーブルである場合でもイネーブルにできます。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。

ステップ 2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home]を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで、[Anonymous Reporting] タブをクリックします。

ステップ 4 [Actions] 領域で、[Anonymous Reporting Data] をクリックしてサンプルまたは既存のレポートを表示します。

ステップ 5 [Properties] ペインで、[Anonymous Reporting] フィールドの次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- [On] : サーバが匿名レポートを送信できるようにします。
- [Off] : サーバが匿名レポートを送信できないようにします。

ステップ 6 [SMTP Server] 領域で、anonymous reporting が電子メール メッセージを送信する SMTP サーバに関する情報を次のフィールドに入力します。

- [Host (IP Address or Hostname)] : SMTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス、あるいはホスト名。
- [Port] : システムが SMTP サーバとの通信で使用するポート番号。
1 ~ 65535 の整数を入力します。デフォルトは 25 です。

ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。

Call Home の設定

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。

ステップ 2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home]を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 4 [Admin] 領域で、次のフィールドに入力して [Call Home] をイネーブルにします。

名前	説明
[状態 (State)]フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [オフ (Off)] : Call HomeはこのCisco UCS ドメインには使用されません。 • [オン (On)] : Cisco UCSでは、システムで定義されているCall Homeポリシーやプロファイルに基づいてCall Homeアラートが生成されます。 <p>(注) このフィールドを [オン (On)] に設定すると、Cisco UCS Manager GUIはこのタブに残りのフィールドを表示します。</p>
[スイッチの優先順位 (Switch Priority)]ドロップダウンリスト	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • アラート (Alerts) • クリティカル (Critical) • デバッグ (Debugging) • 緊急事態 (Emergencies) • エラー (Errors) • 情報 (Information) • 通知 (Notifications) • 警告 (Warnings)
[スロットリング (Throttling)]フィールド	同じイベントについて重複して受信するメッセージの数を制限するかどうかを指定します。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン (ON)] : 送信された重複メッセージの数が2時間以内に30件を超えると、そのアラートタイプに関するそれ以降のメッセージは破棄されます。 • [オフ (Off)] : 検出された数に関係なく、重複するメッセージのすべてが送信されます。

a) [状態 (State)]フィールドで、[On]をクリックします。

(注) このフィールドを [オン (On)] に設定すると、Cisco UCS Manager GUIはこのタブに残りのフィールドを表示します。

b) [スイッチの優先順位 (Switch Priority)]ドロップダウンリストから、次のいずれかのレベルを選択します。

- アラート (Alerts)

- クリティカル (Critical)
- デバッグ (Debugging)
- 緊急事態 (Emergencies)
- エラー (Errors)
- 情報 (Information)
- 通知 (Notifications)
- 警告 (Warnings)

ファブリック インターコネクットの複数のペアがある大規模な Cisco UCS の展開の場合は、メッセージの受信者がメッセージの優先順位を判断できるようこのフィールドを使用して特定の 1 つの Cisco UCS ドメインからのメッセージにシビラティ (重大度) を割り当てることができます。このフィールドは、小規模な Cisco UCS の展開 (単一の Cisco UCS ドメインなど) には有用でないことがあります。

ステップ 5 [Contact Information] 領域で、次のフィールドに必要な連絡先情報を入力します。

名前	説明
[連絡先 (Contact)] フィールド	主要 Call Home 連絡先。 255 文字以下の ASCII 文字で入力します。
[電話 (Phone)] フィールド	主要連絡先の電話番号。 + (プラス記号) と国番号から始まる国際形式の番号を入力します。ハイフンは使用できますが、カッコは使用できません。
[電子メール (Email)] フィールド	主要連絡先の電子メールアドレス。 Cisco Smart Call Home によってこの電子メールアドレスに登録メールが送信されます。 (注) 電子メールアドレスに# (ハッシュ記号)、スペース、& (アンパサンド) などの特殊文字が含まれていると、電子メールサーバが電子メールメッセージをそのアドレスに配信できないことがあります。RFC2821 および RFC2822 に準拠し、7 ビット ASCII 文字のみを含む電子メールアドレスを使用することをお勧めします。
[アドレス (Address)] フィールド	主要連絡先の住所。 255 文字以下の ASCII 文字で入力します。

ステップ 6 [Ids] 領域で、Call Home が使用する ID 情報を次のフィールドに入力します。

ヒント Smart Call Home を設定しない場合は、この手順を省略できます。

名前	説明
[顧客 ID (Customer Id)] フィールド	ライセンス上のサポート契約の契約番号を含む Cisco.com ID。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。
[連絡先 ID (Contract Id)] フィールド	お客様の Call Home 契約番号。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。
[サイト ID (Site Id)] フィールド	お客様のサイトに固有の Call Home ID。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。

ステップ 7 [Email Addresses] 領域で、Call Home アラート メッセージの電子メール情報を次のフィールドに入力します。

名前	説明
[開始] フィールド	システムによって送信される Call Home アラート メッセージの [送信者 (From)] フィールドに表示される電子メールアドレス。
[返信先 (Reply To)] フィールド	システムによって送信される Call Home アラート メッセージの [宛先 (To)] フィールドに表示される電子メールアドレス。

ステップ 8 [SMTP Server] 領域で、Call Home が電子メール メッセージを送信する SMTP サーバーに関する情報を次のフィールドに入力します。

名前	説明
[ホスト (IP アドレスまたはホスト名) (Host (IP Address or Hostname))] フィールド	SMTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレスまたはホスト名。 (注) IPv4 や IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、または DNS 管理が [ローカル (local)] に設定されている場合は、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていて、DNS 管理が [グローバル (global)] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。
[ポート (Port)] フィールド	SMTP サーバとの通信に使用されるポート番号。 1 ~ 65535 の整数を入力します。デフォルトは 25 です。

ステップ 9 [Save Changes]をクリックします。

Call Home のディセーブル化

この手順は任意です。

Cisco UCS ドメインをアップグレードすると、アップグレードプロセスを完了するために Cisco UCS Manager によってコンポーネントが再起動されます。この再起動によって、サービスの中断およびコンポーネントの障害と同じイベントが発生し、Call Home アラートの送信がトリガーされます。アップグレードの開始前に Call Home をディセーブルにしない場合は、アップグレードに関連したコンポーネントの再起動によって生成されるアラートを無視してください。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。

ステップ 2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 4 [Admin] 領域で、[状態 (State)] フィールドで [Off] をクリックします。

(注) このフィールドを [Off] に設定すると、Cisco UCS Manager はこのタブの残りのフィールドを非表示にします。

ステップ 5 [Save Changes]をクリックします。

Call Home のイネーブル化

この手順は任意です。ファームウェアのアップグレードを開始する前に Call Home をディセーブルにした場合にのみ、イネーブルにする必要があります。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。

ステップ 2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 4 [Admin] 領域で、[状態 (State)] フィールド [On] をクリックします。

(注) このフィールドを [オン (On)] に設定すると、Cisco UCS Manager GUIはこのタブに残りのフィールドを表示します。

ステップ 5 [Save Changes]をクリックします。

次のタスク

Call Home が完全に設定されていることを確認します。

システムインベントリメッセージの設定

手順

- ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ 2** [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ 3** [Work] ペインで [System Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Properties] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Send Periodically] フィールド	このフィールドを [on] に設定すると、Cisco UCS によってシステムインベントリが Call Home データベースに送信されます。この情報がいつ送信されるかは、この領域の他のフィールドによって決まります。
[Send Interval] フィールド	自動システムインベントリデータ収集の間隔（日数）。 1 ~ 30 の整数を入力します。
[Hour of Day to Send] フィールド	データを送信する時間（24 時間時計形式）。
[Minute of Hour] フィールド	データを送信する時間（分数）。
[Time Last Sent] フィールド	情報が最後に送信された日時。 (注) このフィールドは、最初のインベントリが送信された後に表示されます。
[Next Scheduled] フィールド	次のデータ収集の日時。 (注) このフィールドは、最初のインベントリが送信された後に表示されます。

- ステップ 5** [Save Changes]をクリックします。

システムインベントリメッセージの送信

スケジュール済みメッセージ以外のシステムインベントリメッセージを手動で送信する必要がある場合は、この手順を使用します。



- (注) システム インベントリ メッセージは、CiscoTAC-1 プロファイルで定義された受信者だけに送信されます。

手順

- ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ 2** [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ 3** [Work] ペインで [System Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Actions] 領域で [Send System Inventory Now] をクリックします。

Cisco UCS Manager は、ただちに Call Home に設定された受信者にシステム インベントリ メッセージを送信します。

Call Home プロファイルの設定

Call Home プロファイル

Call Home プロファイルは、指定した受信者に送信されるアラートを決定します。プロファイルを設定して、必要なシビラティ（重大度）のイベントと障害に対する電子メールアラート、およびアラートのカテゴリを表す特定のアラート グループに対する電子メールアラートを送信できます。また、これらのプロファイルを使用して特定の受信者およびアラートグループのセットに対してアラートの形式を指定することもできます。

アラートグループおよび Call Home プロファイルによって、アラートをフィルタリングし、特定のプロファイルがアラートの特定のカテゴリだけを受信できるようにすることができます。たとえば、データセンターにはファンおよび電源の問題を処理するハードウェアチームがある場合があります。このハードウェアチームは、サーバの POST 障害やライセンスの問題は扱いません。ハードウェアチームが関連したアラートだけを受信するには、ハードウェアチームの Call Home プロファイルを作成し、「環境」アラートグループだけをチェックします。

デフォルトでは、Cisco TAC-1 プロファイルを設定する必要があります。指定したレベルのイベントが発生したときに電子メールアラートを 1 つ以上のアラートグループに送るための追加プロファイルを作成し、それらのアラートについて適切な量の情報とともに受信者を指定することもできます。

たとえば、高いシビラティ（重大度）の障害に対して次の 2 つのプロファイルを設定できます。

- アラートグループにアラートを送信する短いテキスト形式のプロファイル。このグループのメンバーは、障害に関する 1～2 行の説明を受け取ります（この説明を使用して問題を追跡できます）。

- CiscoTACアラートグループにアラートを送信するXML形式のプロファイル。このグループのメンバーは、マシンが読み取り可能な形式で詳細なメッセージを受け取ります（Cisco Systems Technical Assistance Center 推奨）。

Call Home アラート グループ

アラートグループは、事前定義された Call Home アラートのサブセットです。アラートグループを使用すると、事前定義されたまたはカスタムの Call Home プロファイルに送信する一連の Call Home アラートを選択できます。Cisco UCS Manager は、次の条件下でのみ、接続先プロファイルの電子メール接続先に Call Home アラートを送信します。

- Call Home アラートが、その宛先プロファイルに関連付けられているアラートグループのいずれかに属する場合。
- 宛先プロファイルに設定されているメッセージの重要度以上の Call Home メッセージの重要度をアラートが持つ場合。

Cisco UCS Manager が生成する各アラートは、アラートグループによって表されるカテゴリに分けられます。次の表では、それらのアラートグループについて説明します。

アラートグループ	説明
Cisco TAC	Smart Call Home 宛ての、他のアラートグループからのすべてのクリティカルアラート。
Diagnostic	サーバの POST の完了など診断によって生成されたイベント。
環境	電源、ファン、および温度アラームなどの環境検知要素に関連するイベント。 (注) ファンまたは PSU がシャーシから手動で取り外された場合、Call Home アラートは生成されません。これは設計によるものです。

Call Home プロファイルの作成

デフォルトでは、Cisco TAC-1 プロファイルを設定する必要があります。しかし、プロファイルを追加作成することにより、指定したレベルでイベントが発生したときに、指定された1つ以上のグループにアラートメールを送信することもできます。

手順

- ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ 2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインで、[Profiles] タブをクリックします。
- ステップ 4 テーブルの右側のアイコンバーで、[+] をクリックします。

[+] アイコンが無効になっている場合、テーブルのいずれかのエントリをクリックして、有効にします。

ステップ 5 [Call Home プロファイルの作成 (Create Call Home Profile)] ダイアログボックスで、次の情報フィールドに値を入力します。

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	このプロファイルのユーザ定義名。 この名前には、1～16文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。
[レベル (Level)] フィールド	Cisco UCS の障害がこのレベル以上の場合、プロファイルがトリガーされます。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • クリティカル (Critical) • [デバッグ (Debug)] • 障害 • [致命的 (Fatal)] • メジャー • マイナー • 標準 • 通知 • 警告
[アラート グループ (Alert Groups)] フィールド	この Call Home プロファイルに基づいて警告されるグループ。次の中から 1 つ以上選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Cisco Tac] : Cisco TAC の受信者 • [診断 (Diagnostic)] : POST 完了サーバ障害通知の受信者 • [環境 (Environmental)] : PSU、ファンなどの問題に関する通知の受信者

ステップ 6 [E メールの設定 (Email Configuration)] 領域で、次のフィールドに値を入力して電子メールアラートを設定します。

名前	説明
[形式 (Format)] フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [xml] : Extensible Markup Language (XML) と Adaptive Messaging Language (AML) XML Schema Definition (XSD) を使用するマシンが読み取り可能な形式。この形式により、Cisco Systems Technical Assistance Center との通信が可能になります。 • [フルテキスト (Full Txt)] : 人間が判読するのに適している完全にフォーマットされた、詳細な情報を含むメッセージ。 • [ショートテキスト (Short Txt)] : ポケットベルまたは印刷されたレポートに適している 1 ~ 2 行の障害の説明。
[最大メッセージサイズ (Max Message Size)] フィールド	指定された Call Home 受信者に送信される最大メッセージサイズ。 1 ~ 5,000,000 の範囲の整数を入力します。デフォルト値は 5,000,000 です。 フルテキストメッセージおよび XML メッセージの推奨最大サイズは 5,000,000 です。ショートテキストメッセージの推奨最大サイズは 100,000 です。Cisco TAC アラートグループの場合、最大メッセージサイズは 5,000,000 に制限されます。

ステップ 7 [受信者 (Recipients)] 領域で次の操作を行って電子メールアラートの受信者を 1 つ以上追加します。

- テーブルの右側のアイコンバーで、[+] をクリックします。
- [メール受信者を追加 (Add Email Recipients)] ダイアログボックスで、[電子メール (Email)] フィールドで Call Home アラートを送信する宛先メールアドレスを入力します。
入力したメールアドレスで Callhome アラート/障害を受信するようになります。
保存した電子メールアドレスは削除できますが、変更はできません。
- [OK] をクリックします。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

Call Home プロファイルの削除

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

- ステップ2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ3 [Work] ペインで、[Profiles] タブをクリックします。
- ステップ4 削除するプロファイルを右クリックし、[削除 (Delete)] を選択します。
- ステップ5 [Save Changes]をクリックします。

Call Home ポリシーの設定

Call Home ポリシー

Call Home ポリシーは、特定の種類の障害またはシステム イベントに対して Call Home アラートを送信するかどうかを決定します。デフォルトでは、特定の種類の障害およびシステム イベントに対してアラートを送信するよう Call Home がイネーブルになります。



- (注) デフォルトの障害やシステム イベントを処理しないように Cisco UCS Manager を設定できません。

ある種類の障害またはイベントに対してアラートを無効にするには、まず最初にその種類に対して Call Home ポリシーを作成し、次にそのポリシーを無効にします。

Call Home ポリシー



- ヒント デフォルトでは、すべての Call Home ポリシーが有効になっており、重要なシステム イベントすべてについてアラートが電子メールで送信されます。

手順

- ステップ1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ3 [Work] ペインの [Call Home Policies] タブをクリックします。
- ステップ4 テーブルの右側のアイコンバーで、[+] をクリックします。
[+] アイコンが無効になっている場合、テーブルのいずれかのエントリをクリックして、有効にします。
- ステップ5 [Call Home ポリシーの作成 (Create Call Home Policy)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

Call Home ポリシーのディセーブル化

名前	説明
[状態 (State)] フィールド	このフィールドが[有効 (Enabled)]の場合、関連付けられた原因と一致するエラーが発生した際にシステムはこのポリシーを使用します。それ以外の場合、一致するエラーが発生しても、システムはこのポリシーを無視します。デフォルトでは、すべてのポリシーが有効になります。
[原因 (Cause)] フィールド	このアラートをトリガーするイベント。各ポリシーは、アラートをイベントタイプごとに送信するかを定義します。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

ステップ 7 異なる種類の障害またはイベントに Call Home ポリシーを設定する場合は、ステップ 4 および 5 を繰り返します。

Call Home ポリシーのディセーブル化

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

ステップ 2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインの [Call Home Policies] タブをクリックします。

ステップ 4 ディセーブルにするポリシーを右クリックし、[Show Navigator] を選択します。

ステップ 5 [State] フィールドで、[Disabled] をクリックします。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

Call Home ポリシーのイネーブル化

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

ステップ 2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインの [Call Home Policies] タブをクリックします。

ステップ 4 イネーブルにするポリシーを右クリックし、[Show Navigator] を選択します。

ステップ 5 [State] フィールドで、[Enabled] をクリックします。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

Call Home ポリシーの削除

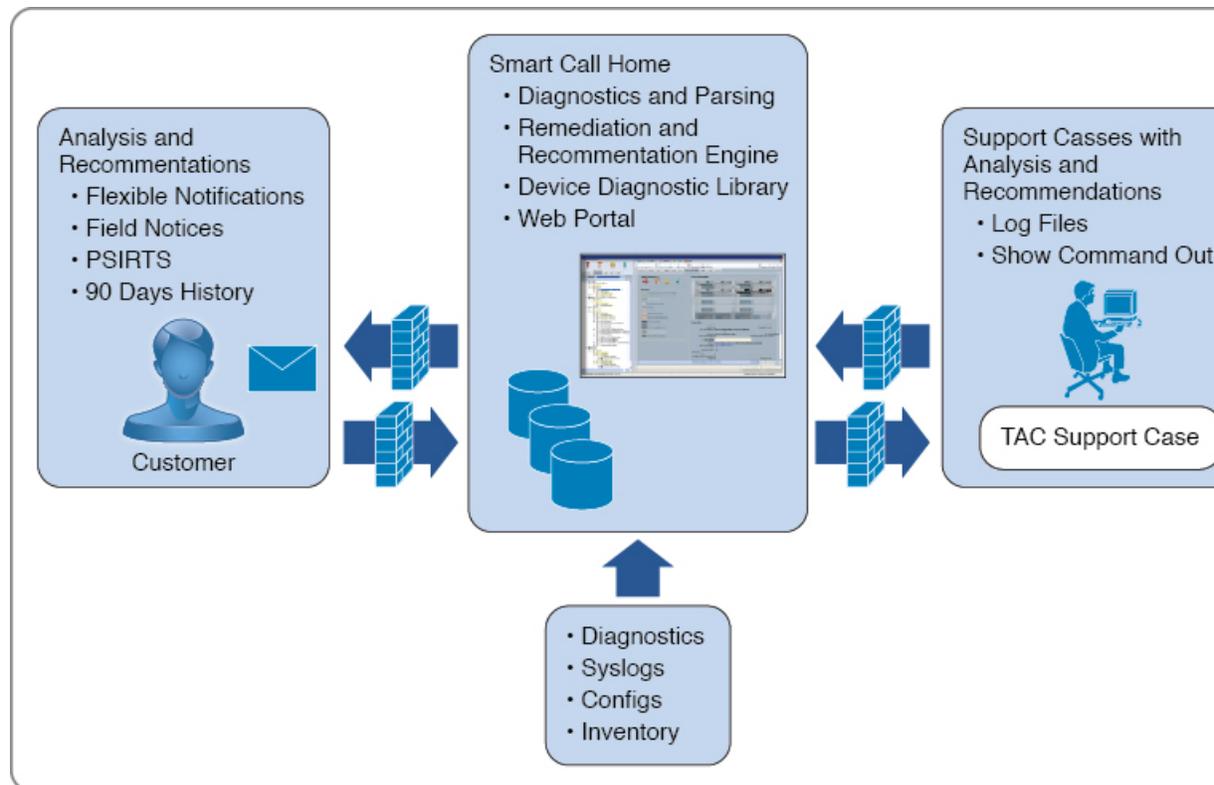
手順

- ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ 2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインの [Call Home Policies] タブをクリックします。
- ステップ 4 無効にするポリシーを右クリックし、[削除 (Delete)] を選択します。
- ステップ 5 [Save Changes]をクリックします。

Cisco Smart Call Home

Cisco Smart Call Home は、Cisco UCS の Call Home 機能を強化する Web アプリケーションです。Smart Call Home により、予防的な診断および重要なシステム イベントのリアルタイムの電子メールアラートが提供されます。それにより、ネットワークの可用性が高まり、運用効率が向上します。Smart Call Home は、Cisco UCS の Cisco Unified Computing Support Service と Cisco Unified Computing Mission Critical Support Service によって提供されるセキュア接続のサービスです。

図 2: Cisco Smart Call Home の機能





(注) Smart Call Home を使用するには、次のものがが必要です。

- 対応する Cisco Unified Computing Support Service 契約または Cisco Unified Computing Mission Critical Support Service 契約と関連付けられた Cisco.com ID。
- 登録されるデバイス用の Cisco Unified Computing Support Service または Cisco Unified Computing Mission Critical Support Service

Smart Call Home 電子メールアラートを Smart Call Home System またはセキュアな Transport Gateway のいずれかに送信するように、Cisco UCS Manager を設定し、登録できます。セキュアな Transport Gateway に送信された電子メールアラートは、HTTPS を使用して Smart Call Home System に転送されます。



(注) セキュリティ上の理由から、Transport Gateway オプションの使用を推奨します。Transport Gateway は、Cisco.com からダウンロードできます。

Smart Call Home を設定するには、次の手順を実行します。

- Smart Call Home 機能をイネーブルにします。
- 連絡先情報を設定します。
- 電子メール情報を設定します。
- SMTP サーバ情報を設定します。
- デフォルトの CiscoTAC-1 プロファイルを設定します。



(注) Callhome sendtestAlert 機能を適用するには、電子メールの接続先の少なくとも 1 つを CiscoTAC-1 以外のプロファイルに設定する必要があります。

-
- Smart Call Home インベントリ メッセージを送信して、登録プロセスを開始します。
 - Call Home カスタマー ID として Cisco UCS ドメインに使用する予定の Cisco.com ID にその資格として登録の契約番号が追加されていることを確認します。この ID は、Cisco.com の Profile Manager の [Additional Access] の下にある [Account Properties] 内で更新できます。

Smart Call Home の設定

手順

- ステップ 1** [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。
- ステップ 2** [すべて] > [通信管理] > [Call Home]を展開します。
- ステップ 3** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Admin] 領域で次の作業を行い、Call Home をイネーブルにします。
- a) [状態 (State)] フィールドで、[On] をクリックします。
 - (注) このフィールドを [オン (On)] に設定すると、Cisco UCS Manager GUIはこのタブに残りのフィールドを表示します。
 - b) [スイッチの優先順位 (Switch Priority)] ドロップダウンリストから、次のいずれかの緊急度レベルを選択します。
 - アラート (Alerts)
 - クリティカル (Critical)
 - デバッグ (Debugging)
 - 緊急事態 (Emergencies)
 - エラー (Errors)
 - 情報 (Information)
 - 通知 (Notifications)
 - 警告 (Warnings)
- ステップ 5** 同じイベントについて重複して受信するメッセージの数を制限するかどうかを指定します。次のいずれかになります。
- [オン (ON)]: 送信された重複メッセージの数が 2 時間以内に 30 件を超えると、そのアラートタイプに関するそれ以降のメッセージは破棄されます。
 - [オフ (Off)]: 検出された数に関係なく、重複するメッセージのすべてが送信されます。
- ステップ 6** [Contact Information] 領域で、次のフィールドに必要な連絡先情報を入力します。

名前	説明
[連絡先 (Contact)] フィールド	主要 Call Home 連絡先。 255 文字以下の ASCII 文字で入力します。

名前	説明
[電話 (Phone)] フィールド	主要連絡先の電話番号。 + (プラス記号) と国番号から始まる国際形式の番号を入力します。ハイフンは使用できますが、カッコは使用できません。
[電子メール (Email)] フィールド	主要連絡先の電子メールアドレス。 Cisco Smart Call Home によってこの電子メールアドレスに登録メールが送信されます。 (注) 電子メールアドレスに# (ハッシュ記号)、スペース、& (アンパサンド)などの特殊文字が含まれていると、電子メールサーバが電子メールメッセージをそのアドレスに配信できないことがあります。RFC2821 および RFC2822 に準拠し、7ビット ASCII 文字のみを含む電子メールアドレスを使用することをお勧めします。
[アドレス (Address)] フィールド	主要連絡先の住所。 255 文字以下の ASCII 文字で入力します。

ステップ 7 [Ids] 領域で、次のフィールドに Smart Call Home ID 情報を入力します。

名前	説明
[顧客 ID (Customer Id)] フィールド	ライセンス上のサポート契約の契約番号を含む Cisco.com ID。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。
[連絡先 ID (Contract Id)] フィールド	お客様の Call Home 契約番号。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。
[サイト ID (Site Id)] フィールド	お客様のサイトに固有の Call Home ID。 510 文字以下の ASCII 文字を入力します。

ステップ 8 [Email Addresses] 領域で、次のフィールドに Smart Call Home アラートメッセージの電子メール情報を入力します。

名前	説明
[開始] フィールド	システムによって送信される Call Home アラートメッセージの [送信者 (From)] フィールドに表示される電子メールアドレス。
[返信先 (Reply To)] フィールド	システムによって送信される Call Home アラートメッセージの [宛先 (To)] フィールドに表示される電子メールアドレス。

ステップ 9 [SMTP Server] 領域で、次のフィールドに Call Home が電子メール メッセージを送信するために使用する SMTP サーバに関する情報を入力します。

名前	説明
[ホスト (IPアドレスまたはホスト名) (Host (IP Address or Hostname))] フィールド	SMTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレスまたはホスト名。 (注) IPv4 や IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNSサーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、または DNS 管理が [ローカル (local)] に設定されている場合は、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていて、DNS 管理が [グローバル (global)] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。
[ポート (Port)] フィールド	SMTP サーバとの通信に使用されるポート番号。 1 ~ 65535 の整数を入力します。デフォルトは 25 です。

ステップ 10 [Save Changes] をクリックします。

デフォルトの Cisco TAC-1 プロファイルの設定

CiscoTAC-1 プロファイルのデフォルト設定は次のとおりです。



(注) Callhome sendtestAlert 機能を適用するには、電子メールの接続先の少なくとも 1 つを CiscoTAC-1 以外のプロファイルに設定する必要があります。

- レベルは標準です
- CiscoTAC 警報グループだけが選択されています
- 形式は xml です
- 最大メッセージサイズは 5000000 です

手順

ステップ 1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

ステップ 2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで、[Profiles] タブをクリックします。

ステップ4 Cisco TAC-1 プロファイルを右クリックし、[Recipient] を選択します。

ステップ5 [Add Email Recipients] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- a) [電子メール (Email)] フィールドで、Call Home アラートの送信先の電子メールアドレスを入力します。

たとえば、「callhome@cisco.com」と入力します。

保存した電子メールアドレスは削除できますが、変更はできません。

- b) [OK] をクリックします。

Smart Call Home に対するシステム インベントリ メッセージの設定

手順

ステップ1 [ナビゲーション] ペインで、[管理者] をクリックします。

ステップ2 [すべて] > [通信管理] > [Call Home] を展開します。

ステップ3 [Work] ペインで [System Inventory] タブをクリックします。

ステップ4 [Properties] 領域で、次のフィールドに値を入力して、システム インベントリ メッセージを Smart Call Home に送信する方法を指定します。

名前	説明
[Send Periodically] フィールド	このフィールドを [on] に設定すると、Cisco UCS によってシステム インベントリが Call Home データベースに送信されます。この情報がいつ送信されるかは、この領域の他のフィールドによって決まります。
[Send Interval] フィールド	自動システム インベントリ データ収集の間隔 (日数)。 1 ~ 30 の整数を入力します。
[Hour of Day to Send] フィールド	データを送信する時間 (24 時間時計形式)。
[Minute of Hour] フィールド	データを送信する時間 (分数)。
[Time Last Sent] フィールド	情報が最後に送信された日時。 (注) このフィールドは、最初のインベントリが送信された後に表示されます。
[Next Scheduled] フィールド	次のデータ収集の日時。 (注) このフィールドは、最初のインベントリが送信された後に表示されます。

ステップ 5 [Save Changes]をクリックします。

Smart Call Home の登録

手順

ステップ 1 [ナビゲーション]ペインで、[管理者]をクリックします。

ステップ 2 [すべて]>[通信管理]>[Call Home]を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインで [System Inventory] タブをクリックします。

ステップ 4 [Actions] 領域で [Send System Inventory Now] をクリックし、登録プロセスを開始します。

シスコがシステムインベントリを受信すると、Smart Call Home の登録電子メールが、[General] タブの [Contact Information] 領域で設定した電子メールアドレスに送信されます。

ステップ 5 シスコから登録電子メールを受信したら、Smart Call Home の登録を完了するために、次の手順を実行します。

a) 電子メール内のリンクをクリックします。

リンクにより Web ブラウザで [Cisco Smart Call Home ポータル](#)が開きます。

b) Cisco Smart Call Home ポータルにログインします。

c) Cisco Smart Call Home によって示される手順に従います。

条項および条件に同意したら、Cisco UCS ドメインの Cisco Smart Call Home 登録は完了です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。